

2019年度名古屋大学大学院工学研究科博士前期課程
機械システム工学専攻, マイクロ・ナノ機械理工学専攻, 航空宇宙工学専攻

受験に際しての注意事項

出願者は「学生募集要項」を必ず熟読し、さらに以下の点について注意してください。

(1) 出願について

入学者の選抜は「一般選抜試験（筆記試験・口頭試問）」により行います。学生募集要項を熟読の上、出願してください。入学志願票、受験票、写真票に記入漏れがないよう注意してください。

(2) 志望専攻について

機械航空系専攻内から志望専攻を第3志望まで、すべて選択してください。また、配属希望する研究室を同系内から専攻をまたがって希望することができます。

(3) 筆記試験について

1) 外国語 英語：筆記試験は実施しません。

提出されたTOEFL (Test of English as a Foreign Language) またはTOEIC (Test of English for International Communication) のスコアに基づいて成績を評価します（次項（5）を参照）。

スコアシートを提出しない場合には、外国語（英語）の試験は評価されませんが、出願は可能です。英語を母語とする出願者は機械・航空宇宙系事務室まで問い合わせてください。

2) 基礎部門

数学：解析・代数から出題。全問解答する。

物理学：力学1問と電磁気学1問を出題。2問の中から1問を選択して解答する。

3) 専門部門 下記6科目から3科目選択して解答する。

熱工学, 流体力学, 振動工学, 制御工学, 材料力学, 電気回路

(a) 熱工学：熱平衡と温度, 理想気体, 熱力学第1法則, 熱力学第2法則, 熱サイクル, 熱力学関数, 相平衡と化学平衡

(b) 流体力学：静水力学, 質量保存, 運動量保存, ベルヌーイの式, 内部流れと損失

(c) 振動工学：自由振動と強制振動, 1自由度系の振動, 固有角振動数, 多自由度系の振動, モードベクトル, 動吸振器, モード解析

(d) 制御工学：伝達関数, 過渡応答, 定常特性, 周波数応答とボード線図, 安定判別法と安定余裕, フィードバック制御系設計

(e) 材料力学：応力とひずみ, 引張と圧縮, 熱応力, トラス, 組合せ応力, 主応力, はりの曲げ, 棒のねじり, 柱の座屈, ひずみエネルギー

(f) 電気回路：直流回路網, 交流回路網, 複素記号法, 複素インピーダンス, ベクトル軌跡, 共

(4) 筆記試験免除について

募集人員の一部について、学業成績優秀者で、本専攻での勉学に高い意欲を持つ者に対して筆記試験免除を行います。筆記試験免除を希望する者は、学生募集要項「6 (2) 筆記試験免除による選抜について」を熟読の上、必要書類を添えて出願してください。筆記試験免除者の選抜は書類選考及び面接試験の2段階により行います。筆記試験を免除された受験者は一般選抜試験の口頭試問のみを受験することとなります。筆記試験を免除されなかった受験者は、一般選抜試験（筆記試験・口頭試問）を受験することとなります。なお、筆記試験免除を希望する志願者は、出願期間が筆記試験免除を希望しない志願者とは異なり、2018年6月13日（水）～14日（木）であることに注意すること。

(5) TOEFL/TOEIC スコアの提出に際しての注意点

学生募集要項「4. 出願書類等 ⑤」を熟読の上、以下の点にも注意すること。

① 得点として有効なスコア：

- ・2016年6月1日以降に実施されたテストのスコア。TOEIC については、2018年5月20日（第230回）実施分までのスコアシートのみ受け付けます。
- ・TOEFL については、PBT (Paper-based Test) と iBT (Internet-based Test) のいずれも有効ですが、団体向け TOEFL テストプログラム (ITP: Institutional Testing Program) のスコアは受け付けません。
- ・TOEIC については、団体特別受験制度 (IP テスト) のスコアは受け付けません。
- ・スコアシートは TOEIC および TOEFL の各一通のみ受け付けます。差し替えはできません。両方のテストのスコアが提出された場合には換算点の高いものが採用されます。

② スコア提出方法：

すべての志願者

- ・TOEFL Official Score Report については、出願期間最終日（筆記試験免除を希望する志願者：6月14日（木）、筆記試験免除を希望しない志願者：7月12日（木））までに届くように余裕をもって送付依頼手続きを行うこと。なお、送付依頼の際に **Institution Code は 0312, Department Code は 68** を指定すること。また、送付依頼したスコアに対応する Examinee Score Report のコピーを、出願時（筆記試験免除を希望する志願者：6月13日（水）～14日（木）、筆記試験免除を希望しない志願者：7月9日（月）～12日（木））に他の書類と併せて提出すること。
- ・TOEIC Official Score Certificate については、出願時（筆記試験免除を希望する志願者：6月13日（水）～14日（木）、筆記試験免除を希望しない志願者：7月9日（月）～12日（木））に原本を他の書類と併せて提出すること。
- ・提出したスコアシートは返却しません。

筆記試験免除者選抜において筆記試験を免除されなかった受験者

- ・TOEFL/TOEIC のスコアシートの再提出を2018年8月2日（木）17時まで認めます。郵送により提出する場合は、各自で封筒を用意し、「スコアシート在中」と朱書きし、郵便局の特定記録で発送すること。

③ 筆記試験当日：

- ・TOEFL のスコアに基づいて成績評価を希望した者は、試験期間中 Examinee Score Report の原本を必ず携帯すること。

※参考

- TOEFL/TOEIC に関する詳細は下記の Web サイトを参照するか、または試験の実施機関に問い合わせること。

TOEFL: <http://www.cieej.or.jp/toefl/>

TOEIC: <http://www.toeic.or.jp/toeic/>

- 英語の成績評価は、すべて TOEFL(PBT)スコアに基づいて行います。TOEFL(iBT)または TOEIC のスコアからの換算は次の方法に依ります。
 - (a) TOEFL(iBT) : TOEFL 公式サイトに示されている換算表
 - (b) TOEIC : TOEFL(PBT)スコア = TOEIC スコア × 0.348 + 296

(6) 口頭試問について

- 1) これまで大学で学んだこと及び一般的事項について口頭試問を行います。
- 2) 実施方法、日程については学生募集要項「6. 選抜実施方法及び試験日程」を参照して下さい。
- 3) 筆記試験終了後に口頭試問の実施時間、会場等について指示します。なお本専攻においては、第2及び第3志望専攻での口頭試問は実施しません。

(7) 講座内容

講座、研究グループ構成、研究内容等については、機械航空系専攻ホームページ (<http://www.mae.nagoya-u.ac.jp/>) 及び「機械航空系専攻案内」を参考にしてください。

(8) その他

- 1) 試験中の携帯電話や電子辞書、IC レコーダー、電卓等の電子機器類の使用は禁止です。時計代わりにしても使用できません。
- 2) 筆記試験では、試験開始 30 分前には試験会場に入場してください。
- 3) 筆記試験では、早退は一切認められません。

名古屋大学大学院工学研究科で修士の学位を授与された志願者

名古屋大学大学院工学研究科で修士の学位を本年度授与される予定の志願者

2018年10月入学名古屋大学大学院工学研究科博士後期課程
2019年度名古屋大学大学院工学研究科博士後期課程
機械システム工学専攻, マイクロ・ナノ機械理工学専攻, 航空宇宙工学専攻

受験に際しての注意事項

1. 筆記試験を免除する.
2. 口頭試問について
 - (1) 日時：個別に連絡するので注意すること.
 - (2) 場所：個別に連絡するので注意すること.
 - (3) 博士課程前期課程あるいはこれまでの研究に関する発表を15分で行うこと.
(プロジェクト使用可, 時間厳守)
発表で使用するPC等は出願者の責任で用意してください.
 - (4) 発表に関連する試問と専門分野の基礎学力に関する試問を行う.
3. 指導教員について
志願者は予定指導教員にあらかじめ連絡しておくこと.

名古屋大学大学院工学研究科以外で修士の学位を授与された志願者

名古屋大学大学院工学研究科以外で修士の学位を本年度授与される予定の志願者

2018年10月入学名古屋大学大学院工学研究科博士後期課程
2019年度名古屋大学大学院工学研究科博士後期課程
機械システム工学専攻, マイクロ・ナノ機械理工学専攻, 航空宇宙工学専攻

受験に際しての注意事項

1. 筆記試験について

(1) 外国語（英語）および基礎部門の試験は免除する.

(2) 専門部門

小論文（志願者の研究分野に関連する出題で，英語の能力も検定する）

2. 口頭試問について

(1) 日時：個別に連絡するので注意すること.

(2) 場所：個別に連絡するので注意すること.

(3) 博士課程前期課程あるいはこれまでの研究に関する発表を15分で行うこと.

（プロジェクト使用可，時間厳守）.

発表で使用するPC等は出願者の責任で用意してください.

(4) 発表に関連する試問と専門分野の基礎学力に関する試問を行う.

3. 指導教員について

志願者は予定指導教員にあらかじめ連絡しておくこと.

4. 名古屋大学大学院の研究科出身（予定）者，あるいは在職者の場合は，試験方法が上記と異なる場合があるので，予定指導教員に問い合わせること.

5. その他の注意事項

(1) 試験中の携帯電話や電子辞書，ICレコーダー，電卓等の電子機器類の使用は禁止です．時計代わりとしても使用できません．

(2) 筆記試験では，試験開始30分前には試験会場に入場してください．

(3) 筆記試験では，早退は一切認められません．